

会告 I

2023 年第 71 回日本輸血・細胞治療学会学術総会のご案内 (第 5 報)

会 期：2023 年 5 月 10 日 (水)～5 月 13 日 (土)

会 場：幕張メッセ 国際会議場全館, 国際展示場 予定

会 長：宮田 茂樹 (日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所)

事務局 長：岡崎 仁 (国立大学法人 東京大学医学部附属病院 輸血部)

テ ー マ：患者を救う！適切な輸血・細胞治療

Appropriate transfusion and cell therapies for better patient outcomes !

事前参加登録期間：

2 月下旬～4 月中旬頃 (予定)

第 71 回総会事務局：

日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所 業務管理課

〒135-8521 東京都江東区辰巳 2 丁目 1 番 67 号

TEL：03-5534-7500 FAX：03-5534-7516

E-mail：gyoumukanri@jrc.or.jp

運営事務局：

株式会社メッド

〒108-6028 東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 28 階

TEL：03-6717-2790 FAX：03-6717-2791

E-mail：71jstmct@med-gakkai.org

学会本部事務局 (学会入会申込等)：

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-14-14 ユニテビル 5 階

TEL：03-5804-2611 FAX：03-5804-2612

E-mail：info@mail.jstmct.or.jp

第 71 回学術総会ホームページ：<https://med-gakkai.jp/71jstmct/>

開催内容：大量出血症例に対する輸血療法についての国際シンポジウム, 台湾輸血学会との合同シンポジウム, Presidential special symposium を企画し, また, 一部の共催セミナーにおいても海外から演者を招聘し, 新型コロナ禍で実施が難しかった海外のエキスパートと直接討議する機会をできるだけ多く企画いたしました (同時通訳が入ります)。ポストコロナに向け, web 形式の利点を残しながら, 会員懇親会の開催など, できる限り従来の学会形式で開催できるよう企画を進めています。奮っての御参加, お待ちしております。(今後の社会情勢を鑑み, 開催形式の詳細については, 改めて学術総会 web site 等を通じて, できるだけ早くお伝えさせていただきます。)

プログラム (仮) : 2023 年 1 月 6 日 (金曜) 時点 敬称略

◇特別講演

「超小型宇宙衛星が紡ぐ未来の宇宙と地球」

東京大学 航空宇宙工学専攻航空宇宙システム学講座

中須賀真一

◇International Sessions

“Recent evidence and real clinical practices for the treatment of patients with massive bleeding”

・ Professor Michael Reade (University of Queensland, Australia)

・ Professor Jeannie Callum (University of Toronto, Canada)

・ Professor Alexandre Mignon (Cochin University Hospital, Assistance Publique Hôpitaux de Paris, France)

・ 大邊 寛幸 (日本外傷学会 : 東京大学臨床疫学・経済学)

・ 香取 信之 (東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座)

・ 牧野慎太郎 (順天堂大学医学部附属浦安病院産婦人科)

◇Presidential special symposium (共催シンポジウム)

“The function of von Willebrand factor for hemostasis, thrombosis, and thrombotic thrombocytopenic purpura”

・ Professor. Zaverio M. Ruggeri (元 Scripps Research Institute, U.S.A)

◇台湾輸血学会合同シンポジウム

“Toward a new understanding and practice of transfusion medicine”

・ Professor Tzong-shi Chiueh (President, Taiwan Society of Blood Transfusion)

・ Dr. Shin-Yi Tsai (Mackay Medical College, Taiwan)

・ Dr. Kate Hsu (Mackay Memorial Hospital, Taiwan)

・ Dr. Ken Jhong (PuriBlood Medial Co., Ltd., Taiwan)

◇教育講演

1. 適正使用・ガイドライン (緊急輸血も含む)

「患者を救う! 適切な輸血治療」(総会長講演)

宮田 茂樹 (日本赤十字社 中央血液研究所)

2. 研究倫理・利益相反

「個人情報保護法改正, 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針改正」

武藤 香織 (東京大学医科学研究所 ヒトゲノム解析センター)

3. 輸血教育・管理体制

「在宅輸血」

大橋 晃太 (トータス往診クリニック 院長)

4. 輸血検査 (血液型, HLA, 感染症検査)

「血液型 genotyping」

宮崎 孔 (日本赤十字社 中央血液研究所)

5. 血栓・止血

「血漿交換なしで TTP は治療できるか？」

松本 雅則 (奈良県立医科大学 血液内科/輸血部)

6. 輸血合併症 (感染症も含む)

「新興再興感染症と血液製剤の安全性」

古田 里佳 (日本赤十字社 中央血液研究所)

7. 輸血ケア (看護師教育, キャリア支援)

「緊急・大量出血における患者観察の重要性」

山本由加里 (富山大学看護部)

8. 移植・細胞治療

「MSC と CAR-T 療法出現による造血幹細胞移植の変化」

内田 直之 (虎ノ門病院 血液内科)

◇シンポジウム

1. 僻地・離島 (小規模医療機関) での輸血医療
2. 新規血液製剤
3. 分子標的治療薬抗 CD47 の輸血検査への影響
4. 輸血部門は止血治療にどう関わるのか?
5. アフェレーシスナースたちの実経験に基づく看護
6. 学会認定・臨床輸血看護師たちの教育活動
7. 臨床検査技師によるタスクシフト・シェアについて
8. 輸血細胞治療と組織適合性検査 (日本組織適合性学会との合同シンポジウム)
9. 最近の遺伝子細胞治療の動向 (日本再生医療学会との合同シンポジウム)
10. 合同輸血療法委員会と学会の更なる連携
11. ヘモビジランス (ミニシンポジウム)
12. CAR-T 細胞療法の現状 (日欧) と今後の血液がん以外の細胞療法の展望 (共催シンポジウム)
13. 小児輸血の臨床 (共催シンポジウム)
14. 赤血球製剤の有効期限延長と血小板製剤への細菌スクリーニング導入 (共催シンポジウム)

◇パネルディスカッション

1. 輸血検査の精度管理・精度保証
2. 輸血検査症例検討会
3. 若手の登竜門
4. インシデント事例から学ぶ輸血看護の取り組み

◇サテライトセミナー, 委員会企画

1. 病院情報システム
2. 輸血検査技師リフレッシュコース
3. フローサイトメトリーによる CD34 陽性細胞数測定研修セミナー (日本造血・免疫療法学会, JCCLS, 日本検査血液学会, サイトメトリー学会との共催)

◇指定教育セミナー

1. 細胞治療に必要な細胞処理・検査に関する技術講習会
2. 看護師ブラッシュアップセミナー
3. 認定輸血検査技師に求められること
4. I&A の Q&A
5. I&A 視察員養成講習会
6. 自己血輸血医師看護師制度協議会指定セミナー

◇ガイダンス

1. 学会認定・臨床輸血看護師制度 受験予定者のためのガイダンス
2. 学会認定・アフェレーシスナース制度 受験予定者のためのガイダンス
3. 認定医制度 受験予定者のためのガイダンス
4. 細胞治療認定管理師試験ガイダンス

他, 共催ランチョンセミナー, 一般演題 (口演, ポスター) 等を予定